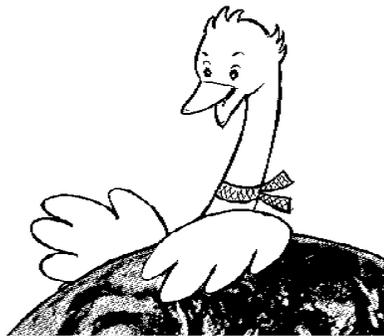


快適地球のつくりかた

いつもロハスで… 14



電気を使わない非電化製品「暑いわねえ。これじゃ省エネしなくてもエアコン消せないわ。」とネコおばさんという。「夏の電力消費はエアコンと電気冷蔵庫と照明なんですってね。どれも必要なものばかりよ。エネルギー使わなくて済む生活がしたいのに…」というのを聞いて、ぼくはあることを思い出した。「…今の日本で電気を全く使わずに暮らすのは難しいけれど、消費電力をすごく少なくする方法はあるよ。」という、おばさんは「ええ!?本当に?」と身を乗り出してきた。「実は電化製品ならぬ“非電化製品”というのがあるんだ。文字通り電気を使わないで、現在の電気製品の替わりになるものを、と考え出されたんだ。冷蔵庫、掃除機、除湿機、洗濯機、太陽熱温水器、珈琲焙煎器、手巻きラジオ、自家発電自転車などなど。これらは昔からの知恵を使ったものや最先端の技術を組み合わせた、まさにロハスな製品なんだよ。」するとおばさんは、「非電化製品って、今使っている電化製品の替わりになるの?なら、すごいじゃない!でもどうして世間には知られていないの?」とげげんそうにいう。

「それは、今ある最新式の電化製品に比べると、うんと面倒じゃないけどちょっと面倒だからさ。その点が便利さ

に慣れた日本の消費者に受け入れられないし儲からないと考える企業がほとんどなんだ。現実にボタンひとつでなんでも出来るオール電化のエコ住宅、が最先端テクノロジーともはやされる日本で、ひと手間もふた手間もかかる非電化製品がどれくらい売れるんだろう。」「でも私は毎日使う冷蔵庫や掃除機や洗濯機が非電化で出来るなら、とても興味があるわ。」「…非電化冷蔵庫は戸外に置いて大気の放射冷却で冷やす仕組みだから、マンションでは設置できないけれど、庭がある家なら大丈夫。モンゴル遊牧民のための非電化冷蔵庫なんて素晴らしいよ。ぼくが使ってみて一番のお気に入りには短時間でとてもおいしく煎れる珈琲焙煎器だし、これから欲しいと思っているのは掃除機だよ。その掃除機って、コロコロ転がすカーペットクリーナーみたいな構造で、畳でも板の間でもどこでも使えて手軽な代物なんだ。…実は『非電化』を最初に言い出したのが、科学技術庁長官賞・発明功労者賞を受賞したことがある工学博士の藤村靖之という人でね、電気文明主流の社会に、必要以上に快適・便利を求めて電気を使っているのではないだろうか、と懸念したんだよ。そして数年がかりで何点かの非電化製品を発明したら、電化製品にはかなわないけれど、ほどほど快適で便利なものが、非電化でも実現できることが確かめられたんだ。そして藤村氏は非電化

工房という会社を作って、非電化製品を注文製作・販売しているよ。その藤村氏は『地球規模で省エネが叫ばれるなか、その選択肢は貧しく不便な昔に戻るものではなく、新しい豊かさを実現するものでなくては愉しくない』といってるんだ。まさにロハスの理念じゃない。ぼくは愉しく便利にそして電化よりも素晴らしい非電化製品を作る、という彼の信念に感動したんだ。」おばさんは少し考えて、「問題は、ちょっと面倒という部分ね。私たち戦争を経験した世代は、とても不便な時代を当たり前のよう生きてきたから、電気を使わずに働く道具はちょっと面倒でも大歓迎よ。今の若い人たちにも知れ渡ればきっと欲しがっている人がいると思うの。」といった。「ぼくもそう思うよ。…非電化製品には、電化で快適・便利になった現代の生活を、快適・便利は残したままで、電気を使わないで愉しく実現してみようという願いがこめられているんだ。中国やインドやブラジルなど発展途上国の多くの人々が、先進国と同じように便利な電化製品を欲しがっているのは事実だし、それを持つなどはいえないけれど、もしそうなったら地球は完璧にアウトだよ。非電化製品はそんな危機的状況を解決できるんじゃないかと期待しているのさ。」とぼくはいった。 つづく
非電化工房ホームページ
<http://www.hideka.net/>

